

# 国民×野党で 安倍政権の暴走ストップ!



## 参院 東北 野党統一候補5県で勝利

全国32の一人区すべてで野党統一候補を実現し、11選挙区で激戦を制しました。東北では5県で勝利。野党と市民の共同の発展が「政治は変えられる」という希望を広げています。総選挙でも市民と野党が力を合わせ勝利するために全力をあげています。

### 衆院選挙制度解説

## 比例代表は日本共産党

比例は個人名では無効です。政党名で投票します。

あなたのお力をお貸しください

安倍政権の暴走を一刻も早く終わらせるためには、東北から初の複数議席獲得がかかせません。あなたの全国のお友達に「比例は日本共産党」を広げてください。

## 東北比例ブロックから 国会へ2議席かならず!

発行 / 日本共産党女性後援会・東北ブロック連絡会 (部内資料)

日本共産党国会議員団東北ブロック事務所  
仙台市青葉区中央4丁目3-28 朝市ビル4階  
電話 022-223-7572 FAX 022-264-2596



## 高橋 ちづ子

比例  
東北

日本共産党衆議院議員

「東北でよかった」という復興大臣の言葉に、被災地の皆さんがどれほど傷ついたのでしょ。この6年間、地元党組織と力あわせて被災地を歩き、声を届けてきました。

2016年にはいわぶち友さんを送り出すことができました。今度は、ふなやま由美さんを必ず。紙智子参議院議員と力あわせ、東北の女性パワーで国政を変えます! 安倍政権は退陣させ、憲法と人権を守り、安心の社会保障と8時間働けば普通に暮らせる社会をつくりましょう。

# 女性の願いと 東北の声を国会へ

比例  
東北

## ふなやま 由美

日本共産党仙台市会議員

東北6県をかけめぐり、安心して暮らせる政治をつくってほしいとの多くの皆さんの願いをひしひしと感じています。「一人ひとりの命が大切にされ、誰もが幸せに生きていける社会を実現したい」これが私の政治の原点です。

安保法制や共謀罪はいりません。原発再稼働を許さず、原発ゼロの実現。憲法を守り活かし、社会保障を豊かに発展させるために、何としても国会に駆け上がる決意です。

東北比例2議席実現で、新しい歴史の扉をひらきましょう。



みんなの願い  
あつめ

# 女性がかがやく社会を



家族そろって夕ご飯を囲みたい!

## だれもが人間らしい暮らしを

日本共産党、民進党、自由党、社民党の野党4党は、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律案」を共同提出しました。だれもが人間らしく暮らせるよう、これからもみなさんとご一緒に取り組みます。

- 30万人分の認可保育所を増設
- ひとり親家庭に対する児童扶養手当の増額
- 8時間働けば普通に暮らせる社会へ、長時間労働の規制を強化
- ブラック企業・パワハラ企業名を公表
- 正規も非正規も女性も男性も同じ仕事には同一賃金を
- 最低賃金を1500円に引き上げ

変えるのは憲法じゃなくて政治!

ストップ!

## 戦争する国づくり

安倍首相は5月3日の憲法記念日に、自衛隊を憲法9条に明記した新憲法を2020年に施行したいと発言。これは、自衛隊の存在を書き込むことにとどまらず、海外で無制限に武力行使ができるようにするものです。

被災地の救援・復興に汗を流した自衛隊員を安保法で海外の「殺し殺される」戦場へ送ってはいけません。

## 厚生労働省がブラック企業名を公表 日本共産党の要求がみのる

厚生労働省は、違法な長時間労働を繰り返すブラック企業に対して、行政指導の段階で企業名を公表するよう全国の労働局長に指示をしました。ブラック企業名の公表は日本共産党が求めてきたものです。



## 女性の願い・暮らし ささえる国へ

「保育園落ちたの私だ」「女性の2人に一人が非正規雇用・・・正規で働きたい」「病气、失業、親の介護など、直面したとたん貧困に・・・」

セクハラ・マタハラ・DVなど・・・女性が人間らしく生きることが本当に大変な社会です。

いまこそ、国の政治のあり方を変えるときです。

### 子ども達の多額の借金に不安

夫婦ともに非正規労働者です。収入が不安定なので二人の子どもたちは多額の借金(奨学金)を負って大学で学んでいます。卒業後の返済のことを思うと不安な毎日です。働き方の問題やすべての子どもたちの未来を真剣に考えてくださる日本共産党の議員がもっと増えれば政治が変わるはず。応援しています。

秋田県 書道家

小幡 英子さん



### 家族が戦地へ・・・戦争法は廃止に!

皆さんは、戦地へ自分の家族が行かされるって気持ちを考えてことがありますか?青森県の自衛隊員は南スーダンへ派兵され危険を伴う任務を遂行し、家族も友人もみんな元気で無事に帰ってきてほしいと願っています。日本共産党を大きくして戦争法は廃止!これしかありません!

安保関連法に反対する

ママの会@青森

芳賀 厚子さん



### 農業も生活も不安なことばかり

農業をするにも、生活するにも、不安なことばかりです。共謀罪は、農民連の活動にも影響が。絶対に許せません。

農業問題をはじめ、どの分野にも、全力を尽くしてくださる日本共産党の議員を増やすため一杯応援します。

山形県農民連女性部

渡沢 孝子さん

# 原発なくし、みんなが安心できる社会へ

## 原発の再稼働は許さない 必要な支援は継続を

「3.11は人災」と前橋地裁が国の責任を認めました。福島が苦しみがなかったかのように、原発の再稼働は許せません。処理費用を電気料金への上乗せで国民に負担を負わせようとしています。原発なしでも電気は足りています。全国の原発を直ちにゼロへ、再生可能エネルギーを進めます。

住宅支援の打ち切りは撤回し、賠償打ち切りはやめさせましょう。

## 暮らしと生業の再建を 応援します



被災者に寄り添った復興が必要です。 ”人間” が最優先にされ、暮らしと生業の再建を応援する復興へ切り替え、これ以上誰も悲しい思いをしない復興をめざします。

- 国の責任で被災地の医療費減免制度の復活を
- 被災者生活再建支援金を300万円から500万円に拡充を

## 介護利用者も深刻

2014年の介護保険法改悪では給付抑制のため、要支援1と2、訪問介護やデイサービスを保険から外し、市町村に丸投げされました。その結果、専門職の支援が受けられず、心身の状態が悪化する高齢者が増え、生活援助の時間が削られて家族の負担がますます重くなるなど、深刻な悲鳴が上がっています。誰もが安心できる介護制度を作ります。



高橋さん、いわぶちさんとともに東北6県の代表が参加した政府交渉



なによりも命が大切にされる政治を

原発事故によって今なお、7万人を超す福島県民が県内外避難を強いられているなか、政府は原発を推進し、膨大な事故の処理費用を過去にさかのぼって国民に負担させようとしています。日本共産党の躍進で、経済最優先ではなく、何よりもいのちが大切にされ、憲法を守り、生かす政治の実現を！

新日本婦人の会福島県本部  
村上 裕美さん



被災者の支援、課題は山積み

東日本大震災から6年目。宮古では高台移転による自宅再建や、災害公営住宅への入居が加速しています。一方で、病気などで相次いで亡くなっている方が増えています。また、被災者同士のコミュニティの大切さ、心身のケアなど課題が山積みです。復興のために、2議席確保し、支援の輪を広げていきたいと思います。

岩手県宮古市  
小名 計子さん



現場も、利用者も安心できる介護制度に

夫の入院で介護保険を利用しました。一方でこの2年間でケアマネさんは4人目です。お2人は体調を崩し、お1人は介護報酬改定による事業所閉鎖でおやめになりました。制度を支える現場の方がた、利用者が安心できる制度にしてほしい。安倍政権のこれ以上の改悪は許せません。

宮城県仙台市  
針生 友美子さん

## みなさんと力をあわせ 国と東電を動かしてきました

- 原発事故・自主避難者への賠償  
「政府の責任逃れ、不当な線引きは許さない」と求め、実現しました。
- 除染予算増額、食品規制を厳しくさせました。
- 風評被害補償の突破口を開く。  
牛肉、コメ検査体制の強化を実現しました。

# 3.11 を胸に刻んで いのち・くらしまでもる政治を

東北初の2議席へ全力

## ふなやま由美

■ふなやま由美仙台市会議員・略歴  
1968年宮城県伊具郡丸森町生まれ、宮城県立角田女子高卒、宮城県総合衛生学院卒、元民主青年同盟宮城県副委員長、宮城厚生協会で保健師・看護師・ケアマネージャーとして勤務、元宮城県医労連女性部書記長、2003年仙台市会議員に初当選、現在4期目。党宮城県常任委員



東北の声を国会へ届け 14年

## 高橋ちづ子

■高橋ちづ子衆議院議員・略歴  
1959年秋田県能代市生まれ、青森県で私立高校教師、99年青森県議初当選、2003年衆議院比例東北ブロック初当選、5期14年。予算委員会委員、厚生労働委員、震災復興特別委員、党衆議院国会対策副委員長、党東日本大震災現地対策本部長、党常任幹部会委員、党女性委員会副責任者



住民目線で子育てしやすい環境づくりに全力

市が一方的に公立保育所をなくすのは反対です。安心して働き、子どもを育てたい。市民感覚、当事者の視点を議会へ届けます。



岩手県岩泉町で台風10号被害調査  
昨年東北を襲った台風、豪雨被害を現地調査し、自治体、住民の要望を聞き取り、国に支援を申し入れました。

宮城県大崎市で豪雨被害調査



衆議院厚生労働委員会での高橋議員

原発再稼働の審査で、関西電力の審査担当課長が過労自殺。「過労死するほど働かせて再稼働を強行するなど許されない」と追求し、厚生労働省は原発審査の残業を適用除外とする通達の廃止を全国の労働局に通知しました。

被災者宅を訪問し話を聞くふなやま市議  
市議団が作成した「震災被災者支援情報」を渡しながら、ひびが入ったり壁が崩れたりした家をまわり、声をかけて要望を聞きました。



被災者宅の床下から泥だしをする  
ふなやま市議

